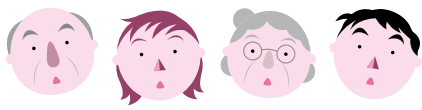


# 地域コミュニティって なんじゃらほい？



筑紫野市では、共助社会づくりに向けて、地域コミュニティによるまちづくりを推進しています。

今回は、山家コミュニティの防災の取り組みについて紹介します。

## 山家地区防災ボランティア「よかよ〜」全体説明



できる人ができる時にできることを。  
安全で安心な暮らしを守り、被災したときには1日でも早く日常を取り戻すため、山家地区みんなで助け合います。



## 山家地区防災ボランティア 「よかよ〜」発足

6月11日(木)に山家コミュニティセンターで山家地区防災ボランティア「よかよ〜」の全体説明会が行われ、設立の趣旨や活動内容について説明がありました。

「山家地区で今、何が起きているのか」を共有することを目的に防災情報・災害発生情報の発信活動を行うとともに、必要に応じて災害復旧ボランティア活動を行います。

会員数は100人を超え、多くの人が参加することで一人一人の負担を分散します。

### 地域の災害情報をリアルタイムで配信

情報発信や災害復旧ボランティアの呼びかけにはスマートフォンアプリ「LINE(ライン)」を活用し、「よかよ〜グループLINE」で連絡します。

地域内の災害情報を多くの人が共有し、より安全に行動できるようにするため、このグループLINEは「よかよ〜」会員のほかに、山家地区住民と近隣に住むその家族が登録できます。

今年6月から7月にかけて計6回、大雨警報が発表された際には、避難所開設や学校の休校などの情報を発信しました。

また、「よかよ〜」会員からは河川の法面が崩れている写真の情報発信があり、注意喚起が行われました。

この情報の即時性を活かして、今後は福祉に関する緊急的な情報発信についても取り組んでいく予定です。

## 山家地区防災ボランティア「よかよ〜」の取り組み

### ●情報発信活動



- 警報や避難所の情報発信
- 遭遇した災害状況の写真、場所を発信

### ●災害復旧ボランティア活動



- ボランティア活動保険に加入
- 事務局が呼びかけ、参加できる人が集まって支援